



# 絵本でつながり、にぎわいが生まれる 「絵本のまち板橋」

板橋区は、絵本にかかわる国際的なネットワークを持つ板橋区立美術館と、世界各国の絵本を所蔵するいたばしポロニーヤ絵本館が併設された板橋区立中央図書館があり、印刷製本業が集積しているという区の独自性を活かし、「絵本のまち板橋」を区のブランドとして展開・推進しています。文化・産業・観光振興や教育活動などさまざまな分野において絵本の魅力を活かした取組を進め、絵本を通じて交流と活動が生まれるまちをめざします。



## ◆イタリア・ポロニーヤ市との交流から始まったプロジェクト

### 3つの視点で展開する「絵本のまち板橋」事業

板橋区では、板橋区基本構想で掲げる将来像「未来をほぐくむ緑と文化のかがやくまち、板橋」の実現に向けて「板橋区基本計画2025」を策定し、この施策を着実に推進していくアクションプログラムとして「いたばしNo.1実現プラン2025」を策定しています。その重点戦略の柱の1つである「ブランド戦略ビジョン」(板橋の魅力が定住と交流を促すまち)の展開として、「絵本のまち板橋」を位置付けています。

具体的には、区立美術館におけるイタリア・ポロニーヤ国際絵本原画展の

開催や区立中央図書館の外国語絵本の蔵書などを活用した絵本事業の充実、絵本関連事業連携・総合発信、印刷製本業の集積など、絵本に関する資源を活かし、絵本文化のさらなる展開・発信を区全体で推進していきます。このように絵本と産業的・文化的関わりが深い板橋区で、あらゆる人が(子どもから大人、絵本をつくる人から楽しむ人など)、それぞれの関わり方で(読む、学ぶ、創る、届けるなど)、絵本でつながり、にぎわいが生まれるまちをめざしています。

「絵本のまち板橋」事業は、絵本文化を享受する「利用者」、絵本・絵本文化を創造する「創作者」、絵本が持つ力を区政に活かす「区」による絵本の

魅力・特徴の体現」の3つの視点で展開していき、それぞれの視点が相互に作用し、刺激し合うことで、相乗効果を図ります。



第1回ポロニーヤ国際絵本原画展

絵本のまち板橋



公式 HP



Instagram

## 板橋区立美術館で開催した ポローニャ国際絵本原画展

「絵本のまち板橋」事業が始まるきっかけとなったのは、昭和56（1981）年に板橋区立美術館で開催された「第1回ポローニャ国際絵本原画展」です。この原画展はイタリア北部の古都ポローニャで毎年開催されている絵本原画コンクール入選作品による展覧会で、新人イラストレーターたちの登竜門としても知られています。毎年世界中からたくさん応募があり、厳正な審査が行われます。このコンクールでは、日本人イラストレーターも活躍しています。

本展は、日本では1978年より兵庫県の西宮市大谷記念美術館で開催されていましたが、関東では板橋区立美術館が初の開催となりました。当時は絵本の展覧会を美術館で開催することは一般的ではありませんでしたが、同年に区立美術館で開催した美術展の中でも動員数の多い展示となり、成功を収めました。その後の平成元（1989）年には、区立美術館がこの原画展の日本巡回展の幹事館となり、現在も継続しています。

## ポローニャから絵本の 寄贈を受けて絵本館を開館

区立美術館がポローニャ国際絵本原画展の日本巡回展幹事館となったことをきっかけに、板橋区とポローニャ市の間で相互訪問が始まり、交流が深まるようになりました。平成5（1993）年からは「ポローニャ児童図書展」事務局から板橋区に絵本が寄贈されるようになり、「ポローニャ・ブックフェア in いたばし」がスタート。平成6（1994）年からは、英語の絵本翻訳コンテストである「いたばし国際絵本翻訳大賞」が始まりました。（次年度よりイタリア語部門も追加）

「ポローニャ児童図書展」事務局から板橋区へ寄贈された世界各国の絵本が80カ国・2万冊以上となり、平成16（2004）年9月、いたばしボランティア・NPOホール3階（板橋区本町24-1）に「いたばしポローニャ子ども絵本館」をオープン。ポローニャから寄贈された世界の絵本を中心に収蔵・展示して、訪れた方が自由に閲覧できるようにしました。この絵本館は、現在の「いたばしポローニャ絵本館」の前身です。

## イタリア・ポローニャ市と 友好都市交流協定を締結

板橋区は、絵本を通じたポローニャ市との交流を経て、交流25周年に当たる平成17（2005）年、ポローニャ市との間で友好都市交流協定を締結することとなりました。調印式はイタリアのポローニャ市で行われ、板橋区からは区長のほか、区議会と産業界の代表者が列席。調印式では板橋区長とポローニャ市長が、長年にわたる交流に携わった方々への感謝と今後の交流の推進を確認するスピーチを行った後、両都市を代表して協定書に署名し、今後は、絵本を通じた交流のほかにも、文化交流、産業・商工業交流、市民交流の各分野で、市民レベルの交流を推進していくことについても合意しました。

なお、2005年は日・EU市民交流年であり、この友好都市交流協定締結は、「2005年日・EU市民交流イベント」として登録されました。同年に開催した板橋区民まつりでは、ポローニャ市との友好都市提携を記念して、区立グリーンホールでイタリアフェアを開催しました。



板橋区・ポローニャ市「友好都市交流協定」締結の様子



「いたばしポローニャ絵本館」の前身  
「いたばしポローニャ子ども絵本館」



イタリア・ポローニャ市の風景

# ◆区民とともに展開する「絵本」をキーワードにしたさまざまな取組

## 小中学生を対象とした 絵本づくりワークショップ

「絵本のまち板橋」事業におけるさまざまな取組を紹介します。板橋区内の区立図書館では、区内在学・在住の小学生と区立中学の中学生を対象とした絵本づくりワークショップを実施しています。絵とストーリーを自分自身で考え、オリジナルの絵本を作成します。

小学生向け絵本づくりワークショップは、区内に11館ある区立図書館を会場に全3回。おはなしをイメージして自由に描きます。中学生向け絵本づくりワークショップは、中央図書館と区内製本会社を会場に全4回。絵本づくりの講義、原画・原稿の作成、製本作業体験など、区内の印刷・製本企業の協力により本格的な絵本制作が体験できます。完成した作品は、中央図書館で行う「いたばし子ども絵本展」で展示し、その後中央図書館の蔵書となります。

## 「おはなし会」で絵本や 紙芝居を読み聞かせ

中央図書館の「おはなしの部屋」では、毎週水曜日の午後3時30分から「おはなし会」を開催しています。運営は、図書館サポーターの名称で登録している区民ボランティアの皆さん。絵本や紙芝居の読み聞かせ、手遊びなどを実施しています。また、外国語の絵本や外国の昔話などを読み聞かせする「外国語おはなし会」は毎月第1日曜日（英語）と第3日曜日（そのほかの言語）の午後2時から、赤ちゃん向けの絵本の読み聞かせや手遊びを行う「かるがもおはなし会」は毎月第2木曜日と第4土曜日の午前10時30分から実施しています。

また、中央図書館では、姉妹図書館であるポーロニヤ市立サラボルサ児童図書館と連携し、お気に入りのぬいぐるみに図書館でお泊まりしてもらう「ぬいぐるみおとまり会」を令和4年5月の10月に開催。その様子をSNSで随時発信しました。

## 絵本作りの専門家から学ぶ 「夏のアトリエ」

区立美術館では、ポーロニヤ国際絵本原画展が開催される時期の恒例イベントとして、「夏のアトリエ」を開催しています。絵本づくりの第一線で活躍する専門家を講師に、イラストレーター約20人が参加するワークショップで、5日間連続で開催されます。これまでに国内外の編集者や作家など多数の方を講師に招き、ベテランイラストレーターから若手まで、多様な受講者が参加しています。人気の講座で、講師からは技術だけではなくさまざまなことを学ぶことができ、他の参加者との関わりからも新しい刺激、新しい発見を得る機会となっています。これまでに何名ものクリエーターが日本中、世界中に活躍の場を広げ、この講座をきっかけに出版された絵本も少なくありません。昨年は、2023ポーロニヤ展審査員のシドニー・スミス氏が講師を務めました。



絵本づくりワークショップ（製本作業体験）



おはなし会



夏のアトリエの様子



こどもアトリエの様子

## 親子で造形あそびを楽しむ「こどもアトリエ」

区立美術館では「夏のアトリエ」のほかに、3歳から小学生の子どもとその保護者を対象に、親子で造形あそびを楽しむ「こどもアトリエ」という講座も開催しています。絵本作家、アーティスト、デザイナーなど、さまざまなジャンルで活躍する講師陣を招いて行うワークショップです。1日に2回、同じ内容で開催しています。昨年

12月にはイラストレーターでデザイナーの前川明子さんを講師に招き、板ダンボールを使って写真や絵を飾るための額縁を作りました。

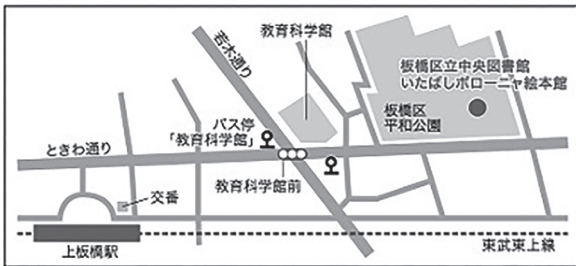
## 区内のお店が展覧会場に！「ポロニーヤ絵本さんぽ」

ポロニーヤ国際絵本原画展の開催期間中に、板橋区内とその周辺で「ポロニーヤ絵本さんぽ」という関連イベントが開催されており、板橋区はパンフレット制作等の広報面で協力しています。カフェ、レストラン、書店などが展覧会場となり、ポロニーヤ展の入選者を中心に、絵本やイラストレーションの展示やイベントが開催されます。

板橋区では、「絵本のまち板橋」事業を今後さらに推進していきたいと考えています。そのためにはさまざまな側面から「絵本のまち板橋」という言葉を浸透させていくことが大切です。政策経営部ブランド戦略担当課が中心となり、大学や企業、大使館、個人のクリエイターなど、これまでは直接つながりのなかったステークホルダーとも連携をして、この事業を展開していきます。

## いたばしポロニーヤ絵本館

板橋区立美術館で「ポロニーヤ国際絵本原画展」を開催して以来、板橋区とポロニーヤ市は絵本を通じて交流を深め、平成5（1993）年からは「ポロニーヤ児童図書展」事務局より海外絵本の寄贈が始まりました。平成16（2004）年9月、寄贈された海外絵本を直接手に取れる施設として「いたばしポロニーヤ子ども絵本館」が開館し、その後の令和3（2021）年3月、板橋区立中央図書館内に「いたばしポロニーヤ絵本館」として併設移転。世界約100カ国・70言語・3万冊の絵本を所蔵しています。



東武東上線「上板橋駅」北口より徒歩7分  
国際興業バス「教育科学館」下車徒歩3分  
住所：板橋区常盤台4-3-1（中央図書館併設）  
TEL：03-6281-0560  
開館時間：9時～20時  
休館日：第2月曜（祝休日の場合は翌平日）、月末（3月を除き土・日曜・祝休日の場合は翌平日）、年末年始（12月29日～1月4日）、特別整理期間  
入館料：無料  
<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/library/bologna/index.html>



いたばしポロニーヤ絵本館の館内



Instagram



Facebook



X

## 板橋区立美術館

昭和54（1979）年5月、東京23区初の区立美術館として開館。令和元（2019）年6月、大規模改修を終えてリニューアルオープンしました。江戸狩野派をはじめとする近世絵画、大正から昭和初期の前衛美術、板橋区ゆかりの作家作品を中心に収蔵。江戸文化や池袋モダンパルナスを広く紹介する展覧会を開催し、さらにイタリア・ポロニーヤ国際絵本原画展をはじめとしたイラスト、デザインに関する展覧会も開催。また、これらに連携した講演会やワークショップも行っています。



板橋区立美術館の外観

住所：板橋区赤塚5-34-27  
TEL：03-3979-3251  
開館時間：9時30分～17時（入館は16時30分まで）  
休館日：月曜（祝日の場合は翌日）、年末年始。※館内整備のため臨時休館あり。  
観覧料：常設展示室はなく、展覧会ごとに異なる。館蔵品展などは無料。特別展示観覧料は一般600円、大学生450円、高校生450円、小中学生250円  
<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/artmuseum/>

都営三田線「西高島平駅」下車徒歩約14分  
東武東上線「下赤塚駅」、東京メトロ「地下鉄赤塚駅」下車徒歩約24分  
【東武東上線「成増駅」北口から】  
北口1番バスのりばから「赤02」赤羽駅西口行き「赤家（丁目）」下車、徒歩約9分  
または北口2番バスのりばから「（増17）区立美術館経由 高島平操車場」行き「区立美術館」下車（1時間に1～2本程度）  
【都営三田線「高島平駅」から】  
西口2番バスのりばから（1時間に1～2本程度）  
【（増17）区立美術館経由 成増駅北口」行き「区立美術館」下車



Facebook



X

# 令和5年度特別区職員採用試験・選考を終えて

令和5年度特別区職員採用試験・選考は、11月のⅢ類採用試験等の合格発表をもって全て終了しました。  
若年人口の減少や新規求人倍率の上昇等で受験者数が減少する一方、行政ニーズの増大に伴い特別区の採用予定数は過去に例がないほど増加しています。  
そのため、各試験の合格倍率は低下傾向にあり、特別区職員の採用環境は厳しさを増しています。

## 特別区職員採用試験・選考の実施状況

### (1) I類採用試験

採用予定数は1751名程度と過去最大となる一方、受験者数は9164名と減少しており、合格倍率は過去最低の2.4倍となりました。技術系職種、福祉職及び保健師は1倍台となっており、特に厳しい状況です。  
【5年度の変更点】  
・技術系職種の教養試験、論文試験を廃止  
・土木造園（土木）・建築の試験を秋に追加実施

### (2) Ⅲ類採用試験

採用予定数156名程度に対し、受験者数は2058名となり、昨年度から約500名の大規模な減となりました。合格倍率は4.3倍と近年でも低い水準となっています。

採用区分	試験・選考区分	上段：令和5年度		中段：令和4年度		倍率
		採用予定数 (名程度)	申込者数 (名)	受験者数 (第1次) A(名)	合格者数 (最終) B(名)	
I類	事務	1,181	8,541	7,668	3,013	2.5
		983	9,374	8,417	2,308	3.6
	土木造園 (土木)	198	▲833	▲749	705	—
		94	196	186	105	1.8
	土木造園 (造園)	77	196	173	103	1.7
		17	0	13	2	—
	建築	25	66	60	39	1.5
		17	52	45	32	1.4
	機械	8	14	15	7	—
		101	123	116	83	1.4
	電気	76	128	119	86	1.4
		25	▲5	▲3	▲3	—
	福祉	18	45	41	24	1.7
		15	54	49	31	1.6
	心理	3	▲9	▲8	▲7	—
		22	59	48	33	1.5
	衛生監視 (衛生)	19	72	56	32	1.8
		3	▲13	▲8	1	—
	衛生監視 (化学)	141	453	421	256	1.6
125		445	411	229	1.8	
保健師	16	8	10	27	—	
	20	177	147	45	3.3	
合計	21	169	137	44	3.1	
	▲1	9	111	61	1.8	
合計	34	135	128	74	1.7	
	5	▲18	▲17	▲13	—	
合計	5	40	32	10	3.2	
	5	41	38	10	3.8	
合計	0	▲1	▲6	0	—	
	105	362	334	213	1.6	
合計	109	401	370	207	1.8	
	▲4	▲39	▲36	6	—	
合計	1,751	10,179	9,164	3,882	2.4	
	1,481	11,067	9,943	3,156	3.2	
合計	270	▲888	▲779	726	—	

採用区分	試験・選考区分	採用予定数 (名程度)	申込者数 (名)	受験者数 (第1次) A(名)	合格者数 (最終) B(名)	倍率
I類(秋)	土木造園 (土木)	30	54	36	22	1.6
	建築	30	54	36	22	—
Ⅲ類	事務	156	2,398	2,058	482	4.3
	事務	136	2,995	2,561	435	5.9
障害者	事務	8	333	237	16	—

採用区分	試験・選考区分	採用予定数 (名程度)	申込者数 (名)	受験者数 (第1次) A(名)	合格者数 (最終) B(名)	倍率
水河期	事務	41	996	720	54	13.3
	事務	34	1,136	855	53	16.1
合計	事務	7	▲140	▲135	—	—

採用区分	試験・選考区分	令和5年度		令和4年度		倍率
		採用予定数 (名程度)	申込者数 (名)	受験者数 (第1次) A(名)	合格者数 (最終) B(名)	
1級職	事務 (一般事務)	207	1,516	1,146	289	4.0
		143	1,702	1,287	215	6.0
	事務 (ICT)	64	▲186	▲141	74	—
		23	48	41	22	1.9
	土木造園 (土木)	23	48	41	22	—
		27	50	41	30	1.4
	建築	16	46	37	26	1.4
		11	4	4	4	—
	機械	34	37	32	20	1.6
		14	25	18	11	1.6
	電気	20	12	14	9	—
		9	41	33	11	3.0
	福祉	▲10	10	12	10	2.1
		▲1	34	25	14	1.8
	福祉	10	37	25	14	1.8
		0	▲3	0	0	—
	福祉	46	63	45	31	1.5
		21	66	50	36	1.4
	児童福祉	23	39	38	29	1.3
15		29	25	13	1.9	
児童福祉	8	10	13	16	—	
	16	16	14	12	1.2	
児童福祉	11	15	14	13	1.1	
	5	1	0	▲1	—	
児童福祉	15	34	33	21	1.6	
	8	26	23	15	1.5	
児童福祉	7	8	16	5	—	
	86	1,004	720	117	6.4	
事務 (ICT)	63	968	695	88	7.9	
	23	36	25	24	—	
事務 (ICT)	19	55	45	18	2.5	
	19	55	45	17	—	
土木造園 (土木)	11	48	40	19	2.1	
	7	36	28	12	2.3	
建築	4	12	12	7	—	
	17	46	29	21	1.4	
福祉	11	34	3	18	1.4	
	6	12	3	3	—	
福祉	28	39	26	18	1.4	
	15	32	30	17	1.8	
児童福祉	13	7	▲4	18	1.4	
	17	28	25	18	1.4	
児童福祉	19	35	34	20	1.7	
	▲2	▲7	▲9	▲2	—	
児童福祉	10	9	9	9	1.0	
	5	3	3	3	—	
児童福祉	16	15	14	11	1.3	
	12	14	12	10	1.2	
児童福祉	4	1	2	1	—	
	4	13	7	3	2.3	
事務 (ICT)	4	13	—	3	—	
	8	9	9	5	1.8	
児童福祉	0	▲4	▲3	▲2	—	
	2	1	1	1	1.0	
児童福祉	4	2	2	1	2.0	
	▲2	▲1	▲1	0	—	
児童福祉	7	8	7	7	1.0	
	6	0	8	5	1.6	
児童福祉	1	0	▲1	2	—	
	635	3,153	2,380	721	3.3	
合計	398	3,122	2,350	534	4.4	
合計	237	31	30	187	—	

今後も、人材確保が困難な状況が続くことが

## 令和6年度の新たな取組み

- 障害者を対象とする採用選考  
年齢制限を撤廃したことで、受験者数は昨年度と比べて約200名増加し、406名となりました。これに伴い、合格倍率は4.3倍に上昇しました。
- 5年度の変更点  
・受験資格における年齢制限を撤廃  
・経験者採用試験・選考  
採用予定数635名程度に対し、受験者数は2380名、最終合格倍率は3.3倍となりました。I類やⅢ類に比べると受験者数は微減（新設された事務（ICT）を除く人数で比較）に留まっていますが、技術系職種や福祉職の合格倍率は1倍台と厳しい状況です。
- 5年度の変更点  
・事務（ICT）の新設  
・技術系職種及び福祉職において、受験資格における継続勤務条件を緩和  
・技術系職種の教養試験を廃止
- 就職氷河期世代を対象とする採用試験  
採用予定数41名程度に対し、受験者数は720名、合格倍率は13.3倍となりました。合格倍率は昨年度に比べて低下したものの、他の試験区分に比べて依然高倍率となっています。

- 試験制度  
① 受験資格の緩和  
・I類/衛生監視（衛生）及び衛生監視（化学）の上限年齢引上げ  
・経験者/事務（一般事務及びICT）職の継続勤務条件の緩和  
・経験者/業務従事歴の算定における週当たり勤務時間の緩和  
② 試験内容の見直し  
・経験者/福祉職における教養試験廃止、論文試験の一本化  
・経験者/技術系職種における国家資格保有者の職務経験論文免除
- 試験区分の新設  
・I類/事務（ICT職）の新設
- 試験運営  
① 試験日程の早期化  
・I類/採用候補者名簿の有効期間延長  
・各試験/結果通知、履歴書の電子化
- 採用PR  
・LINEを活用した情報発信  
・各区と人事委員会の合同による各説明会への参加等

（特別区人事委員会事務局）

**令和5年度第2回全国連携展示（被災地への特別区の対応）**  
**「全国連携で広がる支援の輪**  
**〜文化・歴史の絆が繋ぐ熊本の災害復興〜」を開催しています**

令和5年は、大正12（1923）年に発生し、近代日本の首都圏に未曾有の被害をもたらした関東大震災から100年の節目にあたります。そこで、今年度は「災害対策」をテーマとして展示を開催しています。

第2回全国連携展示では、平成28年熊本地震発生時における特別区の支援の状況の他、文化と歴史の繋がりにから新宿区・文京区と熊本県・熊本市の4者で、「文化と歴史を縁とする包括連携に関する覚書」の締結をきっかけに、迅速な支援を行うに至った経緯などをパネルで展示しています。

また、熊本城をはじめとする復興の現状について、多くの写真を用いて紹介しています。さらに熊本県営業部長兼しあわせ部長のくまモンのパネルや、熊本県のご協力により、新宿区、文京区への支援のお礼である「竹あかり」を移設し、展示しています。

今展示は大規模災害発生時の支援や復興にあたり、平常時の文化や歴史の交流から支援に繋がった例を取り上げています。自治体間の支援や復興に向けた取組みの参考としていただけますと幸いです。

開催期間…令和6年1月10日（水）から2月27日（火）

平日 9時～20時30分  
 土曜 9時～17時

開催場所…東京区政会館1階  
 ※展示期間が変更になる場合があります。ご了承ください。  
 ホームページ等でご確認の上、ご来館いただくようお願いいたします。

（特別区長会事務局・特別区協議会事務局）



**令和6年1月区長会・議長会の主な案件等**

**特別区長会総会**

1.16

- 令和6年度都区財政調整協議について
- 東京都・特別区・東京都医師会連絡協議会（二者協）及び東京都地域保健事業連絡協議会（五者協）関連事業について
- 後期高齢者医療における令和6・7年度保険料率の「最終案」について
- 第25回特別区長会公務員制度部会の概要について
- 令和6年度各団体予算概要（案）等について
- オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」事業について
- 特別区全国連携プロジェクトについて
- 区立児童相談所の事務の財調上の位置付けに関する都区PTについて
- 令和5年度第4回都区協議会及び都知事と特別区長との意見交換会について
- 令和6年能登半島地震への特別区の対応について

**特別区長会総会臨時会**

1.26

- 令和6年度都区財政調整方針（案）等について
  - 固定資産税等の軽減措置について
- （特別区長会事務局）

**議長会**

1.18

- 令和6年度都区財政調整協議状況について
  - 全国市議会議長会産業経済委員会結果報告について
  - 令和6年度議長会関係役職等について
  - 令和6年度議長会等会議日程について
  - 令和6年度議長会一般会計収支予算について
- （特別区議会議長会事務局）



TOKYO  
METROPOLITAN  
UNIVERSITY

# 東京都立大学 オープンユニバーシティ飯田橋キャンパスより 3月開講講座のご案内です！！

## ●日本経済の衰退 —現状、原因、対策—

【講座コード：2341E006】

バブル崩壊を契機に日本経済衰退の現実があらわとなる。1990年代以降、日本経済は停滞、そして衰退に向かう。1991年をピークに「国際競争力の総合順位」は1位から34位に滑り落ち、一人当たりGDPは1996年のピーク7位から26位に落ち込む。衰退は現在も進行し、打開の方向が見えていない。衰退の原因は需要要因、供給要因に求められるが、今回は供給サイドの問題を中心に衰退の現状、原因に迫る。原因の分析が中心となる。原因に向き合うことなくして対策を打ち出しようがないからである。

3回の構成は以下の通りである。

- [Ⅰ] 急速に進む少子化
- [Ⅱ] 産業競争力の低下
- [Ⅲ] 日本社会の支配構造

講師：福田 泰雄 一橋大学 名誉教授  
日時：3月2日、9日、16日（土）  
15：30～17：00（全3回）  
受講料：7,500円  
場所：飯田橋キャンパス（対面）

## ●社会的養護と学校教育 虐待を受けた子どもとの関係づくりと教育支援

【講座コード：2341F012】

みなさんは、「社会的養護」という言葉をご存じでしょうか。

社会的養護を担う施設のひとつである児童養護施設は、現在、「小規模化と家庭的養護」が推進され、入所する子どもの生活環境は大きく改善しています。小規模化は、地域分散化と同じですので、みなさんのお近くにもグループホームと呼ばれる「小さな施設」ができるかもしれません。ただ、入所児童のおよそ6割は被虐待体験があり、地域での生活、とくに学校教育において困難を抱えていることが少なくありません。これまでは被虐待児の早期発見と、保護されたあとの心理的ケアや生活支援の方法が議論されてきましたが、学校教育についてはこれからの課題です。

2021年4月から高等教育の修学支援新制度も開始されましたが、虐待という困難を抱えて自立していくためには、経済的支援だけでなく、教育的支援や配慮も欠かせ

ません。さらに、学校はコミュニティにありますから、教育関係者だけでなく、地域の関係者や住民の方々子どもたちをどう支援して下さるかも重要です。虐待を受けた子ども支援のネットワークが広がることを期待して、昨年度からこの講義を設定しました。

本講座は、以下の二部構成です。

- ・社会的養護について
- ・社会的養護の幼児教育の課題と施設経験者の高等教育進学について

講師：村松 健司  
放送大学教養学部教授 東京都立大学特任教授  
日時：3月13日（水）  
13：00～14：30（全1回）  
受講料：3,000円  
場所：飯田橋キャンパス（対面）

\* 講座の概要については、東京都立大学オープンユニバーシティパンフレットより引用しております。（特別区協議会事業部）

※特別区職員互助組合員の方は初回のみ、必ずお電話で同組合員である旨と『組合員番号』をお申し出ください。  
<問い合わせ先>

東京都立大学オープンユニバーシティ <https://www.ou.tmu.ac.jp/web/>  
Tel.03-3288-1050（平日 9：00～17：30）

●パンフレットを無料送付いたします。

# 清掃工場のオーバーホールに密着！



目黒清掃工場



清掃工場のお兄さん

皆さんは「オーバーホール」という言葉を聞いたことがありますか？辞書で引いてみると、「一定期間使用した機械などを分解して検査・修理すること」と説明されています。主に腕時計やエンジンなどの点検作業の工程に用いられることが多い言葉ですが、清掃工場でもオーバーホールといわれる作業を年に一度行っています。今回は、ごみ処理の安定稼動に欠かせない、清掃工場のオーバーホールをご紹介します。



中央制御室

**オーバーホールとは**  
オーバーホールといわれる清掃工場の定期点検補修工事は、焼却炉を停止して全ての設備を点検し、必要な箇所を修理する工事のことをいいます。  
清掃工場には、焼却炉やボイラ設備、発電設備、排ガス処理設備など、とても大きく複雑な構造の設備があります。ごみの焼却は24時間休みなく行われているため、日々の点検の中では設備内部の細かい部分まで確認することができません。  
そこで年に一度、オーバーホールの期間を設け、工場の操業を停止して法令に基づく検査を行うとともに、公害防止性能及び施設の安全性を維持するための点検・補修を行うことで、設備を安全で定期的に稼働させています。

## オーバーホールとは

## 焼却炉の点検・補修

焼却炉内部は灰などが付いているため、初めに清掃を行ってから、点検・補修を行います。ストローカ式の焼却炉は、床部に火格子と呼ばれる鋼製のブロックが階段状に敷き詰められています。この火格子が前後に動くことで、ごみをかきはん及び移動させながら燃焼させて灰にします。焼却炉は800℃以上の高温で24時間連続燃焼しているため、内部の部材は徐々に劣化していきます。そこで内部点検を行い、損傷が激しい部分を補修します。



焼却炉内部の火格子

## ボイラの点検・補修

ボイラは、ごみを焼却したときに生じる熱で蒸気を発生させる設備です。水管と呼ばれる金属製の管の中を水が流れながら沸騰し蒸気を作っています。この水管に接



ボイラ水管の膜厚測定

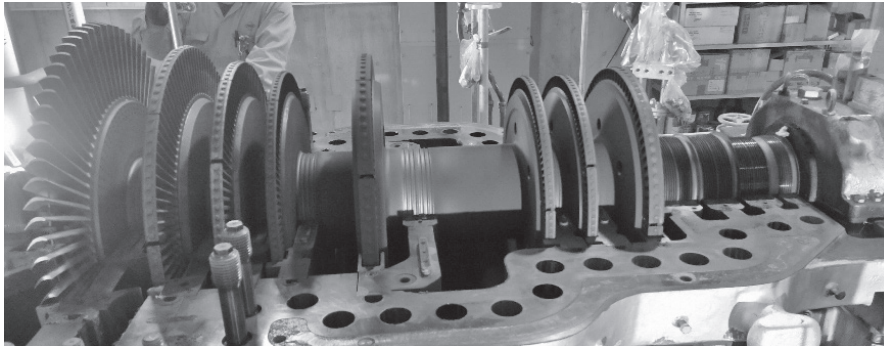


ボイラ水管

している高温の排ガスの影響で、徐々に水管の厚さが薄くなるため、肉厚測定や膜厚測定を行います。測定箇所は焼却能力300トン/日規模の焼却炉で数百か所にも及びます。測定は0・1ミリ単位の精密さで行われ、問題のある箇所が見つければ、取替えや、溶かした金属等を塗料のように表面に吹き付ける溶射という方法で水管の表面保護を行います。

## 蒸気タービンの点検・補修

蒸気タービンとは、ボイラでつくられた蒸気を用いて発電機を駆動させる装置です。蒸気力でタービンの羽根を回転させることで発電機が回り、電力を発生させています。



蒸気タービンの車軸及び羽根

蒸気タービンは、4年に一度開放して、内部を点検・補修することが法令によって義務付けられています。

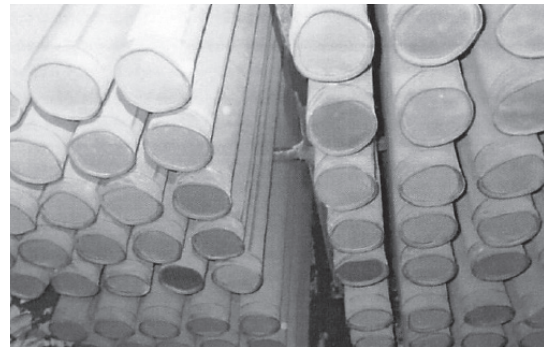
タービンの点検作業は、まず車室と呼ばれるタービンの車軸及び羽根の上下部にかぶせるケースを開放します。その後、タービンの車軸及び羽根を取り出し、車軸や羽根及び車室自体に傷がないかを確認します。

蒸気タービンは大きな設備ですが、その内部は精密機械のように正確さが求められます。わずかな傷やひずみから発生する振動が大きな事故を招くため、とても細かい検査が必要となります。そこで、設備を全て分解し、目視では確認できない細かい傷がないか非破壊検査を行います。この検査は、ボルト1本に至るまで行われます。

### ろ布の交換

ろ布とは、排ガス処理設備を構成するろ過式集じん器の部品の一つで、各工場の集じん器内部に800〜6000本ほどあり、空気清浄機のフィルターののような役割を果たします。排ガス中のばいじんを主に捕集し、さらに薬剤（消石灰・活性炭）を吹き込むことで、ダイオキシン類、水銀、塩化水素及び硫酸酸化物を捕集・除去することができます。

焼却炉は24時間連続で休みなく運転していますので、ろ布は徐々に目詰まりするなど劣化していきます。その性能を維持するため、定期的に交換しています。



交換されたろ布

### 安全で安定的な操業に向けて

オーバーホールは、実際の作業はもちろんのこと、準備段階もとても大切です。運転中の点検情報や、次のオーバーホールとの間に行う中間点検で、補修が必要な設備や期間を計画します。そして、この計画に基づいて補修を実施していくことでトラブルの発生を抑え、23区のごみを安全で安定的に処理しています。

清掃工場の安全で安定的な操業は、日々の点検やオーバーホールという地道な作業の上に成り立っています。  
清掃一組は、今後も清掃工場の安定操業のために一丸となって、尽力していきます。

(東京二十三区清掃一部事務組合)

施設管理部施設課

### 清掃一組ホームページ情報

各清掃工場では、清掃工場だよりを発行し、操業状況や環境調査結果などをお知らせしています。ホームページにも掲載していますのでご覧ください！

清掃一組ホームページ

<https://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp>



カーネン





## 2023年の大井競馬を振り返って

### 【光よ、駆けろ。TWINKLE RACE】

2023年のTCKイメージキャラクターは新木優子さんと福士蒼汰さんが務め、コミュニケーションテーマ「光よ、駆けろ。TWINKLE RACE」のもと、TCKを大いに盛り上げていただきました。また、イメージソングに起用した緑黄色社会の「Starry Drama」は、TVCMなど様々な場面で使用され、ファンの高揚感を高めました。



### 【TCK所属馬の活躍】

2023年は、TCK所属馬の活躍が目立ちました。4月には、マンダリンヒーロー号が地方所属馬として初めてアメリカの重賞、サンタアニタダービー（G1）に挑戦し、2着と健闘しました。また、ダート競走の体系整備により2023年が最後となった南関東3歳クラシックでは、ミックファイア号が22年ぶり2頭目となる無敗での三冠を達成しました。



### 【東京大賞典】

12月29日（金）に、ダート競馬の総決算レース「第69回東京大賞典（GI）」を実施しました。

日本全国からダート競馬の強豪馬が集結するこのレースは、ウシュバテソロ号が勝利し、本レースを連覇しました。

また、1レースあたりの売得金額は82億9054万円余、1日の売得金額は124億5288万円余を記録し、地方競馬1レースの売上記録、地方競馬1日の売上記録をそれぞれ刷新しました。



### 【23区との連携を強化】

東京メトロポリタンウィーク（9/17～19、21・22）では、23区にちなんだ冠レースの実施やPR動画の放映などを通じて、各区の魅力を全国に発信しました。

また、各区ホームページや広報紙、庁舎デジタルサイネージ等にTCKのバナー広告や動画広告を出稿する取り組みを通じて、TCKのPRと区財政への貢献を図りました。

### 【開催状況】

2023年4月から12月までの開催成績は、1日平均の売得金額は前年同期比106.4%、場外発売所やインターネット投票利用者を含めた1日平均の利用者数は前年同期比104.6%という結果でした。社会の変化を捉えながら、リアル／オンラインどちらでも楽しめる平日夜のエンターテインメントとして各種広報施策を展開し、今年も売得金・利用者ともに前年末実績を上回ることができました。

なお、第15回開催（12/26～31）では、地方競馬1開催の売上記録となる262億7112万3330円を記録し、2023年の締めくくりにもふさわしい開催となりました。

（競馬事務局 広報課）

## 開催成績

（各回対比）

回別	開催日程	売得金額	利用者数	1日平均			前年度同時期対比（1日平均）		
				売得金額	利用者数	1人当り購買金額	売得金額	利用者数	1人当り購買金額
15	12/26～31	26,271,123,330円	2,370,580人	4,378,520,560円	395,097人	11,080円	115.1%	112.2%	102.6%

